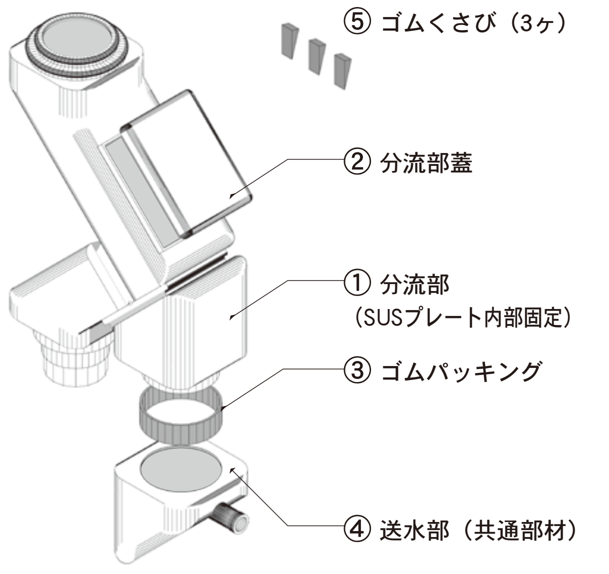
RainSorter

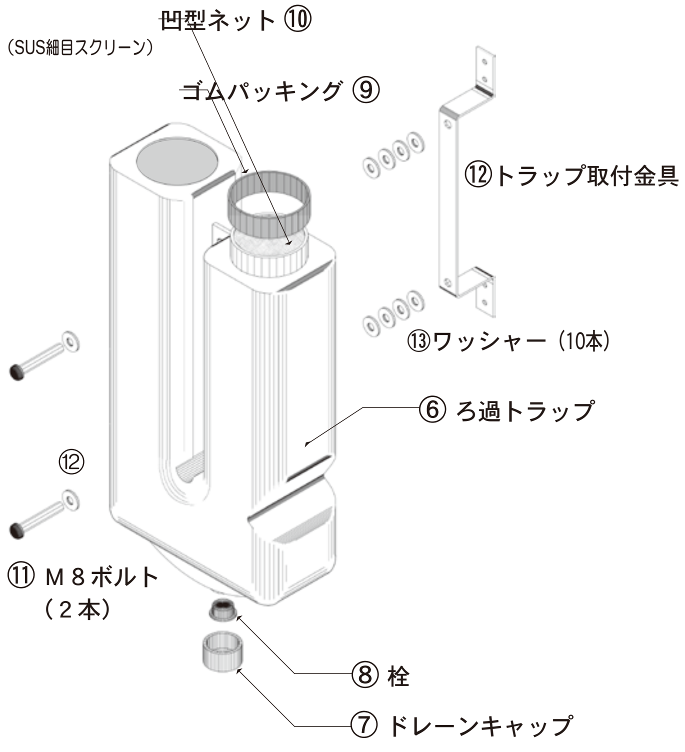
実用新案登録第3066431号

［部材一覧表（梱包内容）］

シングルろ過タイプ



ダブルろ過タイプ（左の部材に追加される部材）



【製品の特徴】

［シングルろ過タイプ］ 竪樋に取付けた「分流部」により、雨水に混入したゴミを粗目スクリーンによって除去しながら雨水を集めます。

［ダブルろ過タイプ］ 家屋壁面などに設置した「ろ過トラップ」に、汚れた初期雨水が貯留され、細目スクリーン（凹型ネット）でダブルろ過し雨水を集めます。また、スクリーン下面でろ過するため上面で受けるより目詰まりがおこりにくい構造です。
（スクリーンを取外しが出来るように改良しました。）

［共　通］ 「分流部」の取付位置を調整することにより貯水槽が満水時にはオーバーフロー機能をはたします。

●最高流入量：レインソーターを通して貯水槽に送られる１分間の最高水量

［ダブルろ過タイプ］　8〜9リットル／分
　満水までにかかる最短時間　→　200リットルタンク：20分から25分
　　　　　　　　　　　　　　→　１トンタンク：１時間30分〜２時間

［シングルろ過タイプ］9〜10リットル／分

■メンテナンス

集水面の汚れ・大気の汚染状況により下記メンテナンスは異なりますが、定期的な清掃の目安としてお考えください。

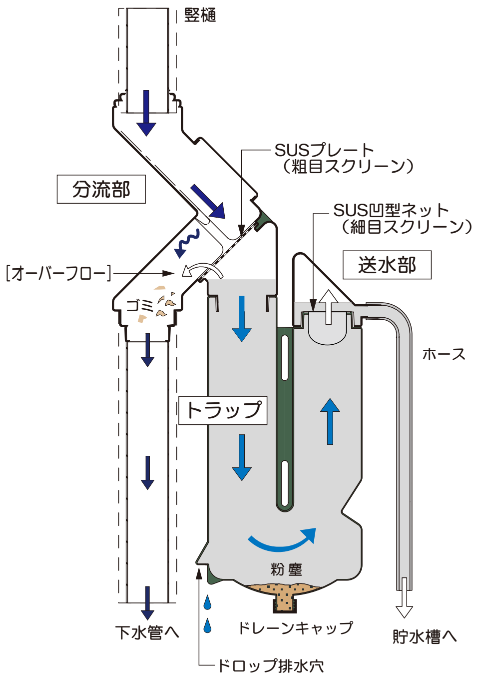
（１）月に１回：ろ過トラップの凹型ネットが目詰まりしていないかチェックし、詰まりがあったら取外して流水で洗い落とす。

（２）３ヶ月に１回：ろ過トラップのドレーンキャップ・栓を取って、汚泥物を排泄します。

（３）分流部に遺物が詰まる場合がありますので、年に数回はチェックをする。

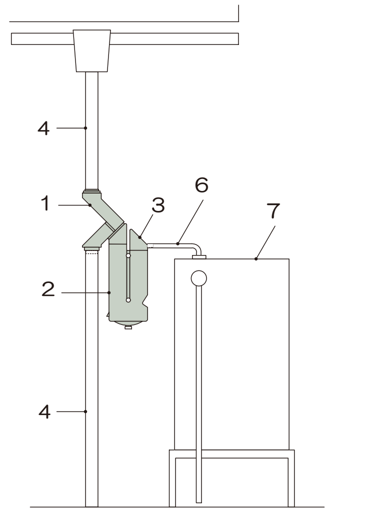
（４）トラップのドロップ排水穴は、数時間かけてトラップ内の雨水を排水するためのもですが、目詰まりをおこしやすい部分です。詰まったままの状態でも問題はありませんが、穴をとおす場合は、穴径より細い針で貫通してください。大きくなりすぎないようにご注意ください。
頻繁に目詰まりする場合は、そのまま詰まったままに放置して頂いて結構です。

●水の流れ　［ダブルろ過タイプ］



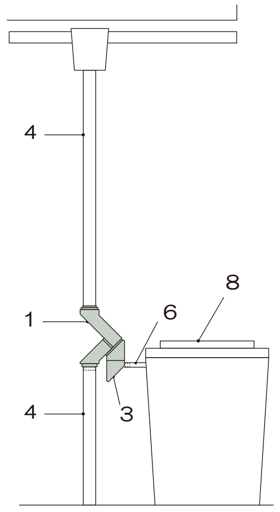
■取付け方法のいろいろ

A）オーバーフロー機能のある貯水槽に
　ダブルろ過タイプを取付けた例

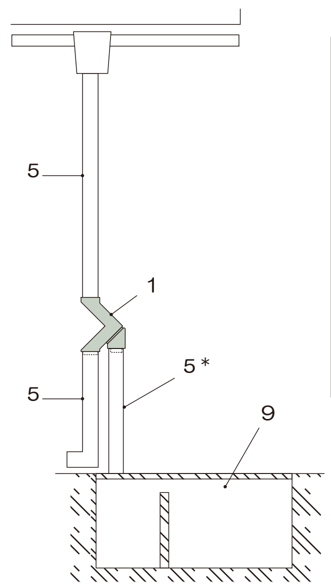


＊貯水槽より高い箇所に取付けます。

B）ポリバケツを貯水槽にして
　シングルろ過タイプを取付けた例



C）地下貯水槽に
　シングルろ過タイプを取付けた例



1　：分流部
2　：ろ過トラップ
3　：送水部

4　：小型径竪樋
5　：大型径竪樋
6　：送水ホース
7　：貯水槽（市販品）
8　：貯水槽（ポリバケツ）
9　：地下貯水槽

＊分流部に取付ける樋（５＊）はφ65以上の樋を調整して取付けます。

■取扱上の注意

・分流部①内部のSUSプレートがはずれていた場合は、本体サイドのネジをゆるめ内部の凹部にはめ込み、再びサイドのネジで固定してください。

・本体の素材は、ハイデンポリエチレンのため一般の接着材では接着できません。

・樋を切りすぎた場合などは、樋メーカーの縦ジョイナー等で継いで調整しながら再度カットしてください。

・この取付け説明書はお読み後、大切に保管してください。

・製品の仕様・取扱説明書は、改良のため予告なく変更することがあります。

ホームページで、Ｑ＆Ａコーナーなど各種雨水情報を提供しております。
ホームページ：http://www.m-do.com/rain/　　e-MAIL：rain@m-do.com

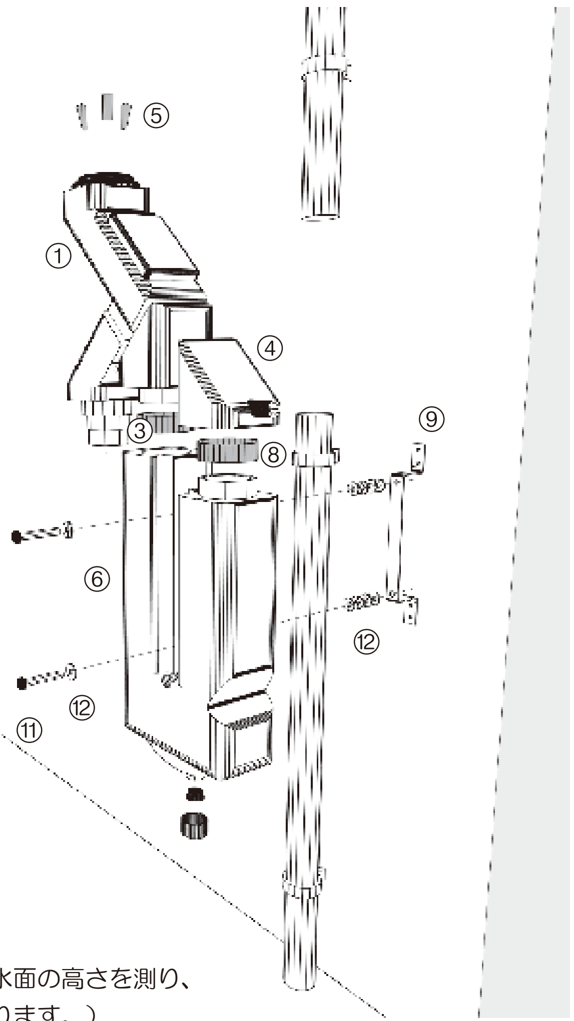
■ご質問表　ＦＡＸ：03-3624-9543

お問い合せ先：松本デザイン機構有限会社　／製造元：ＮＡＰ（すみだ異業種交流グループ　NOVA′90　雨水プロジェクト）
〒131-0033 東京都墨田区向島 5-17-10-502　TEL：03-3624-9542　FAX：03-3624-9543

20030830

取付説明書

■地上置きの貯水槽（タンク）の場合



ダブルろ過タイプ【図　1】

1　取付ける竪樋の直径を測ります。

分流部①は、樋の太さ（管の外径寸法）が、φ55、φ60、φ75ミリのものに取付けが出来ます。これ以外の径のものは、取水継手（φ100→φ75）やビニールテープでの調整が必要になります。

<樋の径が上記と異なる場合>

・φ75以内：分流部下部の差込み部分にビニールテープを巻き調整して隙間を無くしてください。　→ 5

・φ75以上の樋、角樋、変形樋の場合、調整継ぎ手を各メーカーが用意してる場合がありますのでのメーカー、工務店に直接お問合せください。

・竪樋管径φ125を越える場合は、トラップの取付けが出来ません。

2　取付位置の確認

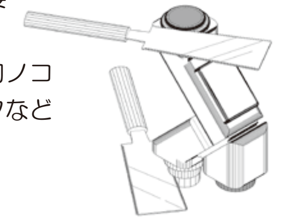
レインソーターの取付位置をあらかじめ確認してください。
貯水槽に満水時の排水口がない場合は、レインソーターにオーバーフロー機能を持たすことが出来ます。【図　2】
ダブルろ過タイプの場合：トラップ⑥の取付け位置を確認します。→ 6

貯水槽の種別 ― 満水時の排水口の有無

- あり ― 貯水槽より高い位置に取付け
- なし ― レインソーターにオーバーフロー機能を持たすため、満水面の高さを測り、【図２】の位置に取付け（樋径により取付け位置が異なります。）

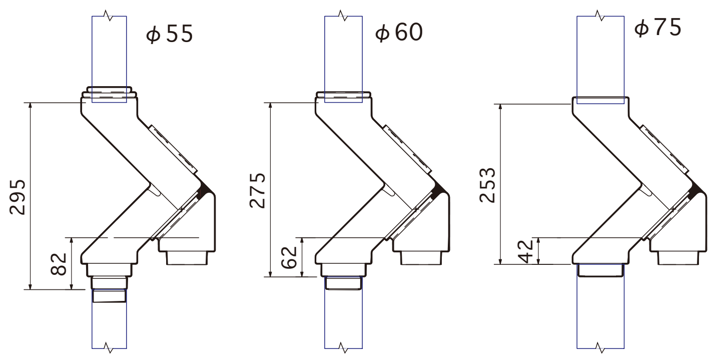
3　分流部①の加工

樋が差し込めるように、径に合わせてカットします。樋径φ55の場合は、カットする必要はありません。φ60ミリ以上の場合は、集水部①の上下の２箇所を図のように両刃ノコでカットします。切り口はカッターナイフなどで整えます。



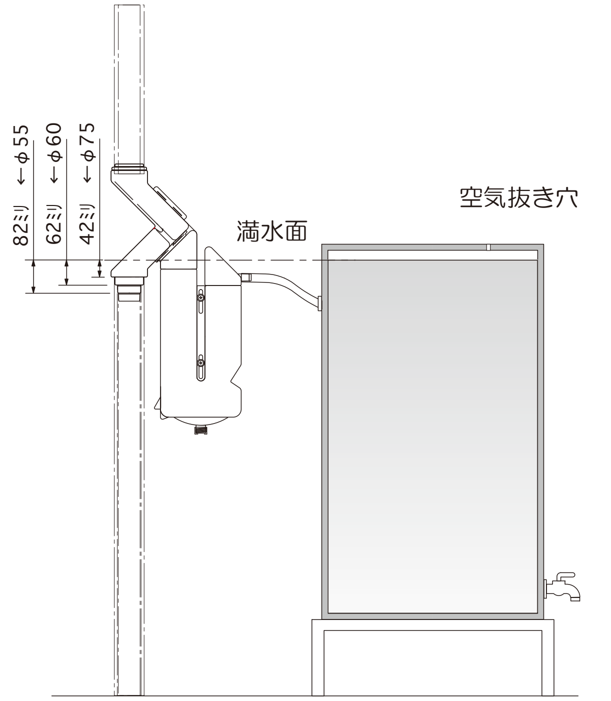
4　樋の上下カット

竪樋を両刃ノコなどでカットします。
（鋼管の樋は専用工具が必要です。）



【図　2】

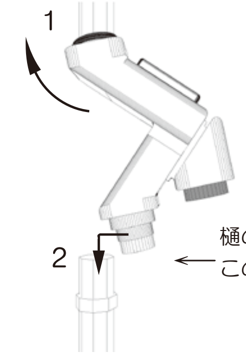
貯水槽に満水時の排水口がない場合の取付け位置



分流部①の取付位置は、貯水槽の満水面の高さを測り、上図のように樋の径によって上図の位置で下側の樋をカットします。上側の樋カット位置は、樋径により左図の高さでカットします。

5　分流部①を樋に取付

図のように分流部①上部を樋に差し込み、下部を下の樋に差し込みます。この時、径が合わないときは、分流部①の下にビニールテープを巻いて樋の内径に合わせて調整してください。



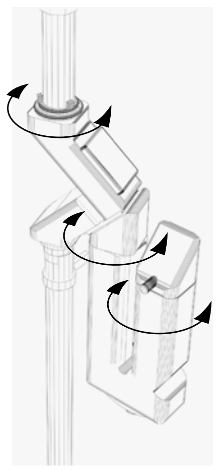
ダブルろ過タイプのみ［トラップ取付け］

6　トラップ取付金具⑨を壁などに取付

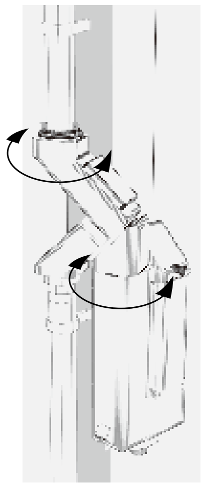
トラップ取付金具⑨は、取付面の素材に合ったビスをご購入の上、お取り付けください。取付金具の下穴径は、φ５.5ですので、それ以下の径のビスをご利用ください。

- ・木：木ビス
- ・コンクリート、モルタル：ＹＡソリッドアンカー等
- ・金属：タッピングビス等

【取付けの調整の例】



壁面への取付け



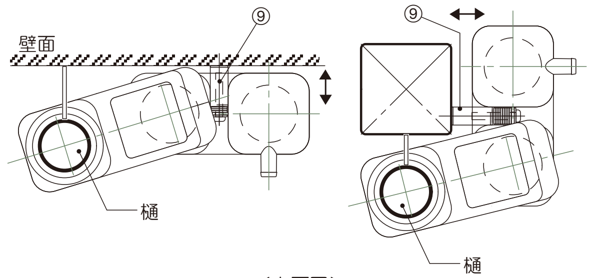
柱回りへの取付け

7　トラップ⑥を分流部①にセット

分流部①にゴムパッキング③を取付け、そこにトラップ⑥をねじ込むように差し込みます。

8　トラップ⑥をトラップ取付金具⑨に固定

表図のようにトラップ⑥を付属のＭ８ボルト⑪で取付けます。この際、付属のワッシャー（10枚）⑫を利用し壁面との隙間を調整してください。市販のワッシャーを追加すれば、壁面より最高35ミリ程度はなして取付けることが可能です。



<上面図>

9　くさび⑤を差込む

竪樋を差し込んだ分流部①上部の隙間にゴムくさび（３ヶ所）を差し込みます。固定しにくい場合は、樋にビニールテープ等を巻いて調整してください。

10　送水部④にホース取付

市販の外径φ18ミリのホースを送水部④に差し込みます。光の透過するホースは内側にコケが発生しますので、なるべく不透明のホースをご利用ください。

11　送水部④をセット

【ダブルろ過タイプの場合】
トラップ⑥にゴムパッキング③を取付け、送水部④をねじ込むように差し込む。

【シングルろ過タイプの場合】
分流部①にゴムパッキング③を取付け、送水部④をねじ込むように差し込む。

雨水タンクの必要条件

1．藻の発生を防ぐため、日光を遮断できる素材であること。
2．埃や虫の混入が防止できること。
3．内部の沈殿物が除去できること。
　ダブルろ過タイプを使用すれば、埃の浸入もなく、
　メンテナンスが容易になります。
4．ボウフラの発生を防ぐため、密閉できること。

雨水は、水道水のように塩素が入っていないし、
窒素分があるから、草花や野菜を育てるのには最適です。